

●長崎県立大学平成31年度第1回教育研究評議会 議事録

日 時	平成31年4月9日(火) 14:40~16:35
場 所	佐世保校第1・2会議室
出席者	木村学長、古河副学長、田中副学長、代田経営学部長、綱地域創造学部長、森田国際社会学部長、平岡情報システム学部長、大塚看護栄養学部長兼人間健康科学研究科長、三戸経済学研究科長、上村国際情報学研究科長、下野附属図書館長、石田佐世保校附属図書館長、百岳事務局長、平川シーボルト校事務局長、山田学生支援部長
配付資料	<p>【資料1】 名誉教授称号付与について</p> <p>【資料2】 韓国全南大学校地域開発研究所との学術交流協定について</p> <p>【資料3】 新大学院準備プロジェクトチーム(仮称)について</p> <p>【資料4】 教育課程検討プロジェクトチーム(仮称)について</p> <p>【資料5】 副学長の職務分担について</p> <p>【資料6】 学内委員会等委員について</p> <p>【資料7】 中期計画(31年度計画)の進捗管理について</p> <p>【資料8】 平成30年度卒業生就職状況について</p> <p>【資料9】 平成31年度長崎県立大学入学者数について</p> <p>【資料10】 教員定数見直しについて</p> <p>【資料11】 学長補佐体制について</p> <p>【資料12】 卒業要件にかかる資格取得状況について</p>
議 事	<p>【協議事項1. 名誉教授称号付与について】</p> <p>資料1に基づき、学長より次のような説明があり、了承された。 前学長を規程第2条第2号に該当するということで推薦する。 10年間在籍し、理事長2年間、学長8年間の職務を全うし、教学の最高責任者として数々の改革や施策を実行し、大学運営に多大な功績を残された。</p> <p>資料1に基づき、地域創造学部長より次のような説明があり、4名とも了承された。 地域創造学部からは4名の元教員を規程第2条第1号及び第3号に該当するということで推薦する。 まず1名の元教員は32年間在職し、うち4年間は学生部長を務めており、大学運営に大きく貢献された。 次に1名の元教員は26年間在籍し、本学の中国語教育及び中国からの留学生支援に尽力された。 次に1名の元教員は21年間在職し、うち1年間は地域政策学科長を務めており、大学運営に大きく貢献された。 次に1名の元教員は31年間在籍し、経済学科長及び長崎県立大学佐世保校附属図書館長を務めており、大学運営に長きにわたり尽力された。</p> <p>資料1に基づき、副学長より次のような説明があり、了承された。 国際社会学部からは1名の元教員を規程第2条第3号に該当するという</p>

ことで推薦する。

該当元教員は 8 年間在職し、うち 2 年間は国際情報学研究科長、3 年間は国際社会学部長、学部学科再編では国際社会学部の準備委員長として学部の運営体制構築に大きく尽力された。

資料 1 に基づき、看護栄養学部長より次のような説明があり、了承された。

看護栄養学部からは 1 名の元教員を規程第 2 条第 3 号に該当するという
ことで推薦する。

該当元教員は 8 年間在職し、地域連携センター長、附属図書館長、人間健康科学研究科長を務めており、大学運営に大きく貢献された。

【協議事項 2. 韓国全南大学地域開発研究所との学術交流協定について】

資料 2 に基づき、副学長より次のような説明があり、了承された。

本学東アジア研究所と全南大学地域開発研究所が、日韓両国を中心とした東アジア地域の政治・経済・社会・文化等に関する研究促進のために相互協力することに合意する。

【協議事項 3. 新大学院準備プロジェクトチーム（仮称）について】

資料 3 に基づき、事務局より次のような説明があり、了承された。

新大学院開設を円滑に進めることを目的とし、新大学院準備プロジェクトチームを設置する。

【協議事項 4. 教育課程検討プロジェクトチーム（仮称）について】

資料 4 に基づき、事務局より次のような説明があり、了承された。

クォーター制導入プロジェクトチーム設置要綱の一部を改正する。

【報告事項 1. 副学長の職務分担について】

資料 5 に基づき報告された。

全学委員会の委員長、センター長及び研究所長は、担当副学長に事前協議及び事後報告をお願いしたい。

【報告事項 2. 学内委員会等委員について】

資料 6 に基づき報告された。

委員会によって仕事量が異なるため、会議等の調整をお願いしたい。

教員からも良い提案をいただければとの意見があった。

【報告事項 3. 中期計画（31 年度計画）の進捗管理について】

資料 7 に基づき報告された。

平成 31 年度のスケジュールは昨年度と同様である。

【報告事項 4. 平成 30 年度卒業生就職状況について】

資料 8 に基づき報告された。

大学全体の内定率は昨年度より 1.2 ポイント増加し、99.2%であった。

4 月末が確定となる。

【報告事項 5. 平成 31 年度長崎県立大学入学者数について】

資料 9 に基づき報告された。

今年度は学部学科再編年度に匹敵する志願者数であった。

【報告事項 6. 教員定数見直しについて】

資料 10 に基づき報告された。

現行の教員定数総数を変更せず、経営学科の英語教員を 1 名減員し、国際経営学科の英語教員を 1 名増員することとする。

【その他 1. 学長補佐体制について】

資料 11 に基づき、学長より次のように説明された。

本学の諸課題に迅速・的確に対応していくため、大学全体の見地から行う企画・立案等の特定の業務について、学長を助け、学長の指示のもと、特命を受けて業務を遂行する「学長補佐」を指名する。

国際交流・留学支援担当に経営学部国際経営学科岩重聡美教授、教育質向上担当に地域創造学部公共政策学科橋本優花里教授、ICT・産学官連携担当に情報システム学部情報セキュリティ学科加藤雅彦教授、高大接続担当に地域連携センター中島洋特任教授を指名したい。

意見聴取を行われ、異議なく了承された。

任期は 2019.4.10 から 2021.3.31 までの約 2 年間。

【その他 2. 卒業要件にかかる資格取得状況について】

資料 12 に基づき、学長より次のように説明された。

学生の状況を把握し、きめ細やかな対策を早急を実施する。

また、現段階では再試等を考える時期ではない。

以上